

報告第3号 平成27年度事業計画及び収支予算について

平成27年度事業計画

1 基本方針

少子高齢化が進む中、団塊世代のすべてが平成27年度に65歳に達し、それに伴って順次、労働市場の現役から退き、活躍の場を探し求めてきます。シルバー人材センターはそれに応える、生きがいのある、社会の担い手の場所として、その役割がますます期待され、重要となってきます。

平成27年度は当センターにとって、創立30周年の節目を終えた新たなスタートの年度です。当センターは、平成24年度予算で大幅な赤字編成となり、平成24年5月に「財務健全化(3ヶ年)計画」を策定し、収支均衡を目標に取り組んできました。その中で平成25年度は会員数、契約金額が十数年ぶりの水準にまで落ち込んだものの、事務比率のアップ、大幅な経費削減の効果により僅かな赤字にとどまり、最終年度である平成26年度は、経費節減、就業確保に努めた結果、計画数値目標(収支差額 0)を達成する見込みで、一つのハードルを越えました。しかし、センターの運営は依然として厳しい状況にあり、現状は経費の圧縮がきつく、事業展開をするにも、自由度のない身動きが取れない財務状況で、本来の健全化には至っていないのが実態です。したがって、本年度は中身のある本物、より健全な財務の構築を目指し、就業拡大、会員増を図り、将来に繋ぐ事業展開に取り組めます。

財務基盤を堅牢にする取組みとして、新たな事業である「一般労働者派遣事業」や地域社会のニーズの掘り起こしを積極的に実施します。それに対応できる力量と意欲のある会員を確保し、受注拡大を図って財源の確保に努めることが重要な課題です。一方、これまで、会員の積極的な運営参画と事務局の高度化・差別化など、組織の強化に取り組んできましたが、一部に効果がみられるものの、まだ不十分であり、これも大きな課題の一つです。会員の就業グループ化を更に浸透させ、かつ、地域班、職群班の活性化並びに女性会員増、活動につながる具体的な施策を講じ、全員参加型の取組をし、センターの運営改革を進めます。そして、当センターの将来展望を明確にし、その実現のための「中期5ヶ年計画」を策定します。

(1) 目標数値の設定

平成26年度に「財務健全化計画」を終え、決算においても収支均衡が図れる見通しであるが、本年度は堅牢な財務とするためにも、受注額、会員数の増加を目指し、その達成数値目標と施策を設け優先度、重要度を付けて取組む。また、当初予算の執行状況を厳しく管理し、ムダ、ムラを排除し効率的、効果的な執行をしていく。

(2) 組織力の発揮

契約金額、会員数の低迷を打破するためには組織力を最大限に発揮する必要がある。少子高齢化、地域社会のニーズに応えられるよう、基本理念に立ち帰って会員・職員の意識変革と会員の運営参画及び事務局のより高度化を進め、加えて、地域班、職群班や女性会員の能力が発揮できるよう、取組みをする。また、すべての就業についてグループ就業を基本とし、少量多種の仕事分野でも会員のグループ化を進め、共働就業体制の整備をしていく。一方、地域の要望に対する、迅速できめ細かい対応を実現するための全地域対応可能な体制を構築し、地域グループ(地域役立ち隊)も含めた活用を図る。

2 目標数値と重点項目

目標値

契約金額	新規入会者数	就業率	派遣就業延人員	災害件数
205,000 千円	40 人	90 %	1,200 人日/年	0 件

重点項目

- (1) 就業機会の確保・拡大
- (2) 会員の増強と資質の向上
- (3) 一般労働者派遣事業の実施
- (4) 安全、適正就業の徹底
- (5) 事業運営基盤(組織、財務)の強化
- (6) 会員の運営参画の推進
- (7) 中期5ヶ年計画の策定

3 事業実施計画

(1) 就業機会の確保・拡大

就業機会の確保・拡大はセンターの最重要事業である。既存顧客の確保はもとより、新規顧客の獲得を目指し、会員、役職員が一丸となって、地域や職域で活動するとともに、市当局をはじめ関連機関と連携した取組みをしていく。

- ・会員・役職員によるPR、地域ニーズの掘り起こし
- ・地域班、職群班における開拓活動の促進
- ・広報媒体の活用
- ・行政、関連機関との連携
- ・顧客満足度の増進
- ・情報の共有化

(2) 会員の増強、資質の向上

就業確保・拡大とシルバー事業発展のためには力量を備えた会員が不可欠である。いろいろな機会を活用し、入会の促進と資質の向上に取り組む。また、全職種における就業をグループ対応・行動とし、機動力、組織力を強めて就業機会を逸することのないよう、顧客満足度を上げていく。これも(1)と同様の重要課題である。

- ・入会説明会の活用
- ・口コミの奨励
- ・普及啓発の活動推進
- ・ホームページ等PR方法の検討と活用
- ・研修会(会員、技能、接遇等)の計画、実施
- ・すべての職種での就業グループ化の促進
- ・多職種のできる会員の育成
- ・他センターの訪問、調査、交流

(3) 一般労働者派遣事業の実施

新たに企業や生活支援、子育て・育児支援業務等で就業機会を確保し、会員に就業提供できるよう積極的に取り組み、財源確保を図る。このため、各分野に亘る、経験豊富なコーディネーターを雇用する。

- ・コーディネーターを中心に事業展開
- ・派遣会員の確保とフォロー
- ・連合との連携
- ・派遣事業分野の調査、情報収集
- ・偽装請負の適正化

(4) 安全・適正就業の徹底

無災害を目指し、かつ、安全・適正就業の意識高揚を図る。定例的に研修会を開催するとともに、継続受注案件を中心に安全・適正就業面からの点検、定期的パトロールを実施する。また、問題点を発見した現場や会員に対しては、速やかに是正を行い、恒久対策を実施し、その徹底を図る。

- ・安全パトロールと職種別安全指導の強化
- ・「安全就業基準」・「作業マニュアル」の徹底と指導
- ・作業前の機器点検、危険予知への取組
- ・安全講習会の開催と参加の徹底
- ・作業改善、事故防止対策とその周知
- ・健康管理の徹底
- ・適正就業の啓発、是正への取組

(5) 事業運営基盤(組織、財務)の強化

センターの安定経営は財源の確保と組織運営基盤の整備がなされていることである。将来のあるべき姿も考えて、組織運営のプロセスを効果的にする業務改革に取り組み、基盤整備と強化を進める。先ず、業務システムの更新と日常業務を洗いだしてムダ、ムラを取り除きスリム化を図る。また、公式サイトホームページに加え、これまでに開設したサ

ウェブサイトを見直し、活用方法の検討を行い、情報収集、発信の共有化を図る。そして、事業運営の迅速化、円滑化に役立つ取組みを行う。財務基盤の強化については収入拡大と支出抑制の取組みは勿論のこと、組織力の向上とその発揮が重要である。

- ・業務システムの更新検討とその実行
- ・日常業務の改善と目標管理のリンクした取組み
- ・事業、業務改革の取組みとその検討
- ・財源の確保、組織力増強への取組み
- ・情報収集・発信の共有化及び迅速化の促進
- ・リスク管理、コンプライアンス遵守の取組み

(6) 会員の運営参画の促進

センターの事業展開をしていくには、構成員である会員の自主的、積極的な参加が必須である。地域や職域、或はボランティア、サークル活動を通じての会員相互のコミュニケーションを高め、センターの事業運営参画を通して組織力の強化を図る。

- ・地域班における会員活動の活性化
- ・職群班における会員活動の活性化
- ・女性部の組織化と女性力の発揮
- ・新規分野への挑戦
- ・センター取組の研修会、イベントへの参加・協力

(7) 中期5ヶ年計画の策定

センターのあるべき姿を構築し、その実現のための「中期5か年計画」を策定する。